10 高松・要町・千川地域

要町通り

1　地域の特徴

（1）位置

区の西部に位置する高松１丁目から３丁目、要町１丁目から３丁目の一部及び千川１、２丁目の区域です。東側の環状６号線（山手通り）以東は池袋西地域、南側の放射36号線（要町通り）以南は長崎・千早地域、北側は板橋区に接しています。

（2）市街地の変遷

江戸時代から明治時代にかけて、米、雑穀、蔬菜類を栽培し、江戸・東京の中心部へ持ち込む都市近郊型の農村地帯として、わずかな集落が点在していました。また、江戸時代に民衆信仰として広まった富士講の月三講（椎名町元講）によって、長崎富士塚（国指定有形民俗文化財[54]）が築造されました。

大正時代、関東大震災後に市街化が進み、昭和初期にかけて大規模な耕地整理[29]が実施されました。戦前には、区内で最も古い「すずめが丘　アトリエ村[41]」が形成されました。

戦災による被害はほとんどなく、昭和30（1955）年代にはほぼ市街化が完了し、アパートやミニ開発などが増加しました。その後、都市計画道路放射36号線及び環状６号線の整備、営団地下鉄有楽町線（現東京メトロ有楽町線）、東京メトロ副都心線が開通し、現在に至っています。

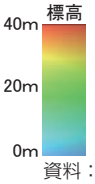
図表5-88　大正時代の長崎村

資料：写真にみる豊島60年のあゆみ展より転載

図表5-89　大根洗い（大正期）

画像提供：田島憲

図表5-90　高松・要町・千川地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル（国土地理院）をもとに作成

（3）主な景観要素

①地形・自然

○暗渠となった千川上水の一部では、桜並木が残されています。

○要町通りは、豊かな街路樹によって、みどりの潤いを感じられる景観が形成されています。

29　**耕地整理**：25ページ参照
41　**アトリエ村**：38ページ参照
54　**国指定有形民俗文化財**：衣食住、生業、信仰、年中行事などの風俗・慣習、民俗芸能、衣服、器具、家屋など人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承である民俗文化財のうち、国が指定する重要な有形民俗文化財

②歴史・文化

○大山道をはじめとする旧道が残り、道沿いには浅間神社や長崎富士塚、高松柳稲荷神社、庚申塔などがあります。

○長崎アトリエ村では最も古い「すずめが丘アトリエ村」がかつてあり、「培風寮」を中心に若い芸術家たちが創作活動に勤しんでいました。

○千川彫刻公園は、彫刻家・中野素昂のアトリエがあったことにちなんで整備されました。

③まち・界隈

○大正から昭和時代に実施された耕地整理により区画が整備され、みどり豊かな住宅街が広がっています。

○えびす通りや要町駅・千川駅周辺では、商店街が形成されています。

○千川小学校体育館部分跡地のふるさと千川館では、人々の触れ合いを育む施設が整備されています。

④人々が織りなす魅力

○千川小学校跡地のふるさと千川では、千川堤桜まつりや花火大会、盆おどりなどが開催され、地域の人々でにぎわっています。

図表 5-91　千川彫刻公園

図表 5-92　要町駅周辺

図表5-93　ふるさと千川

2　景観まちづくりの視点

●低層住宅地や要町通り、千川上水などのみどりによって、ゆとりと潤いの広がる景観形成が必要です。

●かつての大山道や浅間神社、アトリエ村をはじめとする地域の歴史・文化を生かした街並みづくりが必要です。

●えびす通りや駅周辺の商店街、公園などで人々が触れ合い、にぎわう風景づくりが必要です。

3　景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

○千川上水沿いは、かつての川の流れを生かしながら、桜並木を楽しめる景観形成をめざします。
○要町通り沿道は、みどり豊かな風格のある街並みを形成します。
○千川彫刻公園やふるさと千川などのみどりを生かして、潤いの広がる街並みづくりを進めます。

図表5-94　千川親水公園

2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

○浅間神社や長崎富士塚、高松柳稲荷神社などを地域の資源として引き継ぎ、歴史を感じられる景観を形成します。
○浅間神社に奉納される冨士元嚱子[35]など、地域の歴史・文化を受け継ぐ人々の姿を大切な風景として育んでいきます。
○池袋モンパルナスの文化を育んだアトリエ村の面影が、地域の中で感じられる街並みをめざします。

図表 5-95　豊島長崎の富士塚

3 人々の生活・営みを映す

○要町駅及び千川駅周辺は、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点にふさわしい街並みを形成します。
○えびす通りや要町駅・千川駅周辺の商店街では、日常生活に密着した親しみを感じられる街並みをめざします。

図表5-96　えびす通り商店街

4 地域の特性を惹き立てる

○山手通り沿道は、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
○千川１、２丁目、要町２、３丁目及び高松３丁目の低層住宅地は、みどり豊かで落ち着きのある街並みを維持・保全し、ゆとりと潤いが感じられる住環境を形成します。

図表 5-97　要町の低層住宅地

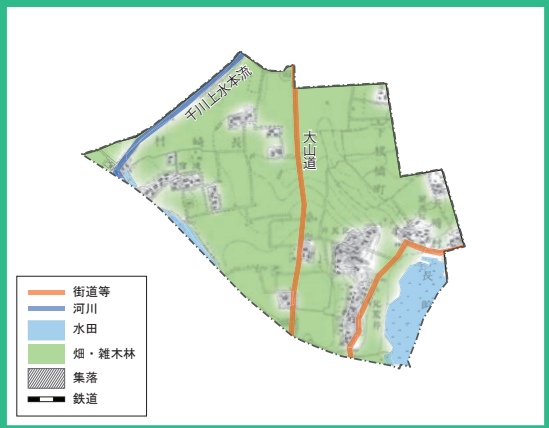
5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

○新たな池袋モンパルナスやマンガ文化をともに担う、池袋西地域や長崎・千早地域と連携し、文化芸術を楽しめるフットパスマップの作成など、人々の回遊性を高めていきます。

35　冨士元嚱子：27ページ参照

図表 5-98　高松・要町・千川地域の景観まちづくり方針図

明治42（1909）年の市街地の様子



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

	ゆとりと潤いを創造する
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する
	人々の生活・営みを映す
	地域の特性を惹き立てる
（全域）	個性ある街並みを創造し、楽しめる仕組みを構築する

	鉄道駅周辺
	みどりの骨格軸
	みどりの回廊（幹線道路）

坂	文化資源	みどりの回廊（街路樹）
寺社	新たな文化拠点	鉄道（ＪＲ）
花の名所	旧道	鉄道（東武・西武）
大学	旧河川	都電
教育施設	神田川	都市計画道路未着手区間
祭り	公園など	